

女性経営者の視点に迫る



独立、事業承継を機に、自社製品の開発や職場環境の改善・構築、人材育成に取り組み、業績を上げている女性経営者がいる。本号では、女性ならではの視点で会社経営に取り組む事例を紹介する。



ノズル穴、噴射穴、ワイヤーカットの下穴など直径3mm以下の細穴放電加工を専門に、2006年に創業した(株)エストロラボ。創業者で代表を務める東山香子氏は元々陶器メーカーに勤務していた経験を持つ。「知り合いの経営者からの勧めで細穴加工に出会ったのが弊社設立のきっかけ。女性だけで金属加工の会社を設立すれば話題にもなるし、業界に風穴を空けられるのではとの構想から、私に声が掛かりました。会

事例に学ぶ

女性が働きやすい仕組みを構築
多様な働き方に柔軟に対応

(株)エストロラボ

社を設立する事に興味があった事や、祖父と父が過去に鉄工所を経営していた経緯もあって、製造業に対する抵抗はありませんでした。3年頑張ったダメなら諦めようと考え、細穴加工技術を習得した後、独立を決意しました」と振り返る東山社長。

同社には現在9名(役員3名含む)の社員が在籍し、その内6名が女性。細穴加工技術は元来、繊細且つ細かい作業が求められる事から女性に適性があるという。さらに、結婚・出産・育児等で社会復帰が難しい女性が円滑に働ける場を提供出来ればとの思いから、現在の構成となっ

この続きは会員事業所
のみご覧いただけます